

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-02	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局道路課長 泉 智夫
				担当係	道路計画係（内）29-218

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道路改築事業費（社会資本整備総合交付金）				
地区名	おたるかんしょうせん 小樽環状線	市町村名	小樽市	総事業費	7,624 百万円
負担割合	国	道	市町村	-	その他
	60.0%	40.0%	-	-	-
	4,574 百万円	3,050 百万円	-	-	-

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●当該区間の急カーブ、急勾配を解消し、安全・安心で円滑な道路交通の確保を図る。 ●北海道横断自動車道（余市～小樽）小樽塩谷ICへのアクセス改善により、小樽市と周辺町村との地域連携の強化を図る。
	<p>【アウトカム】等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●死傷事故発生件数の減少 ●IC等へのアクセス時間短縮率の向上 ●幹線道路の交通負荷の軽減

事業概要	一般道道小樽環状線は、小樽市塩谷地区から小樽市新光地区に至る延長13.2kmの路線であり、地域の産業、生活を支える重要な幹線道路である。当該事業は小樽市塩谷地区から小樽市最上地区に至る急勾配・急カーブが連続する区間について、トンネル整備により隘路部の解消を図るものである。	工事費内訳	【現況】延長L=2.8km、 幅員W=1.0+5.5+1.0（車道）+1.5m（歩道） 最急勾配=11.9%、最小半径R=28m	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			【計画】延長L=1.82km、 幅員W=1.25+6.0+1.25（車道）+2.5m（歩道） 最急勾配=6.0%、最小半径R=420m	前回評価	今回評価	増減額
		道路工 L=0.62km		259	259	0
		トンネル工 L=1.2km		5,300	6,510	1,210
		橋梁工 N=1基		56	56	0
		用地補償費 1式		437	437	0
		測量設計費 1式		318	362	44
		計		6,370	7,624	1,254

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		人・地域	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成	安全・安心な道路網の充実

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針 【計画名：北海道強靱化計画 P44】 （道内交通ネットワークの整備） 災害時における広域交通の分断を回避するため、高規格幹線道路と中心市街地を連結するアクセス道路の整備をはじめ、地域高規格道路や緊急輸送道路、避難路等の整備を計画的に推進する。
	関連する指標 -

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							5,740	2,296			
事前評価又は当初	H24 (2012)	H25 (2013)	H24 (2012)	H30 (2018)							
前回再評価	H24 (2012)	H25 (2013)	H29 (2017)	H35 (2023)			6,370	2,548	20	596	9%
今回評価			R4 (2022)	R8 (2026)	10		7,624	3,050	30	899	12%

変更理由・内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> ●全体事業費 ●資材・労務単価の上昇、消費税の変更に伴う増額 ●積算基準改定による増額 ●動物生息確認による環境調査の追加による増額 ●事業期間 ●用地処理に時間を要したことや追加の環境調査に伴い事業期間を延伸
-------------	--

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ●現道は急勾配（Imax=11.9%）、急カーブ（Rmin=28m）が連続し、死傷事故が多く発生するなど、交通安全上の課題を抱えており、早急な線形改良の必要があった。 ●北海道横断自動車道（余市～小樽）小樽塩谷ICへのアクセス改善を図る。 ●北しりべし定住自立圏の構想実現を支援し北後志圏の発展に寄与する。
2. 事業検討の手續（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ●H21.9 小樽市が定住自立圏構想推進要綱に基づく中心市宣言 ●H22 後志総合開発期成会から整備要望（以降、毎年要望書が提出されている） ●H22.4 小樽市と北後志5町村が定住自立圏形成協定を締結 ●H22.11 「北しりべし定住自立圏共生ビジョン」策定
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●現道の隘路区間が解消され、交通の安全性向上。 ●当該整備区間の延長が短縮、線形が改善され、救急搬送時間の短縮及び患者への負担が軽減。 ●北海道横断自動車道（余市～小樽）小樽塩谷ICへのアクセスが改善され、小樽市と周辺町村との地域連携が強化。

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画															
	施工(工種)区分	工事内容	H24	H25	~H28	~R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	進捗状況	事業費(百万円)	
	道路工	L=0.62km				←								←-->	66%	259
	トンネル工	L=1.2km							←					←-->	0%	6510
	橋梁工	L=15m												←-->	0%	56
	用地補償費	用地買収、物件補償	←			◇									100%	437
測量設計費	測量調査、設計	←											→	78%	362	

(2) 進捗状況

用地処理や環境調査に時間を要していたが、令和元年に用地取得も完了し、今後は概ね計画どおりに進捗が図られる見込み。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	走行時間短縮便益	5,450	事業費	6,777	<ul style="list-style-type: none"> ●「費用便益マニュアル(国土交通省H30年)」に基づき算出 ●便益、費用ともにR4年に現在価値化 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
	走行経費減少便益	2,870	維持管理費	97	
	交通事故減少便益	231			
合計(B)	8,551	合計(C)	6,874		
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度) 前回算定時B/C : 1.63 変更理由 : 事業費が増額となり、将来OD表がH17ベースからH22に更新され交通量が変更となったため便益が減少。				
R4現在	1.24				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	トンネル費のコスト削減	トンネル区間の路肩幅を縮小し、トンネル断面を縮小。	

V 評価

1. 必要性	●現況道路の連続した急カーブ、急勾配を解消し、安全・安心で円滑な道路交通を確保すること。北海道横断自動車道(余市~小樽)小樽塩谷ICへのアクセス改善により、小樽市と周辺町村との地域連携の強化を図るなど当該事業の必要性、重要性に変化はない。	
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	平成29年にトンネル坑口付近で確認されたクマゲラの巣穴について、平成29年度以降環境調査を行い現時点では営巣は確認されていないが、今後は調査を継続し、営巣が確認された場合には有識者等の助言を踏まえた上で、適時配慮対策を行う必要がある。
	(2) 事業推進に対する住民の動向
後志総合開発期成会から継続的に要望を受けている。 ※前回の再評価以降における状況変化はない	
(3) その他の課題	●特になし

3. 事業達成の見込み	R1年度に用地取得も完了し、R4年度よりトンネル本体工へ着手することから、事業の達成が十分見込まれる。	
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元住民・期成会・自治体からの早期完成要望が強いことから、事業を継続する。					
	a	a：継続	b：終了	c：休止	d：中止	
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：平成22年度実施 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：1.54 再評価：平成29年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：1.63
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更

(単位：百万円)

事業経過							事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H24 (2012)	H25 (2013)	H24 (2012)		H30 (2018)	5,740			
変更①	1回目	H24 (2012)	H25 (2013)	H29 (2017)	H29 (2017)	H35 (2023)	6,370			
変更②	2回目			R4 (2022)	R4 (2022)	R8 (2026)	7,624	30	899	12%
変更③										
変更④										
変更⑤										
変更⑥										
変更⑦										
変更⑧										
変更⑨										
変更⑩										
変更理由・内容							10			
変更①：事業期間・総事業費の変更 ・用地補償の協議完了までに時間を要していたことから、事業期間を延伸 ・詳細な調査設計の実施による事業費の増額 変更②：事業期間・総事業費の変更 ・資材・労務単価の上昇、消費税の変更に伴う増額 ・積算基準改定による増額 ・動物生息確認による環境調査の追加による増額 ・用地処理に時間を要したことや追加の環境調査に伴い事業期間を延伸										

事業概要図

事業名	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	小樽環状線
-----	--------------------------	-----	-------

事業地区位置図

